



西尾 隆久

問地域の歴史・資源・文化・伝統・観光関連施設等の案内看板について設置形式、設置場所、市が関与、補助により設置したものは。

答岐阜県の屋外広告物条例により、一定規模以上の看板を設置する場合申請が必要となり、申請があった屋外広告物に該当する自家広告物、案内用看板については、土岐津65件、下石38件、妻木11件、鶴里7件、曾木3件、駄知8件、肥田23件、泉95件、合計252件。

問看板等の維持管理について。

答安全という面だけで、歩行者の方に支障があるとか、安全点検については、更新申請の時から必要となり、やらないと次回の更新はできない。指導は毎月、市の職員が屋外広告物を巡回しており、危険があれば申請者に報告している。

問補助金等を活用した看板について。

答看板のたて替え、維持補修については土岐市のまちづくり支援事業補助金があり、住みよい地域社会の活性化を図ることを目的に、市民生活に係るさまざまな分野において市民が行

う公共性、公益性のあるまちづくりに関する活動に対して交付される。

問SNS等での情報発信・観光大使等の発信力について。

答市においては、SNSを使った情報発信は行っていないが、市の観光協会において、情報やツイッターやフェイスブックで情報発信はしている。観光大使については相手もあるので、その可否を含め今後の検討課題とさせて頂きたい。

問家庭から出るごみについて、昨年4月から家庭ごみの処理手数料の有料化が始まり、どのような状況か。

答平成30年度の同時期比較で約4・8%の減量となっており、市民の皆様のご理解とご協力によるもので、大変感謝している。ただ、有料化後1年以上が経過して、前年を上回る月も出てきている状況で、引き続きごみの減量化にご協力をお願いするものでございます。

問資源ごみの年間収入について。

答日本容器包装リサイクル協会へ搬出したペットボトルの有償排出金配分で、この数字を合計したものが、29年度で1874万円、30年度で約1775万円となっている。

問高齢者家庭のごみの種類について。

答国の制度で高齢者世帯に対するごみ出し支援という制度が創設され、実態調査をし、検討したい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



鈴木 正義

◆「広報とき」の発行について

問発行に関する費用について「印刷代、配送費、配布謝礼金」などの内訳について教えてください。

答費用につきましては、印刷代、運送業者に委託し町内会長への配布の委託料、町内会長による広報配布への謝礼金となります。謝礼金につきましては、広報と一緒に各種配布物を一括して配布して頂いていることも含まれております。

問土岐市と同様に発行を月に2回以上発行している市はどのぐらいありますか。

答岐阜県下では6市が月に2回発行しております。

問今後、発行回数を月1回にされる検討されていますか。

答「6月議会」でのご指摘や、連合自治会などの代表者の方々と実施した「広報広聴活動の在り方について検討会」にて月1回発行への肯定的なご意見をいただいたことをふまえ、月1回発行について早急に検討を進めてまいります。

◆児童館の今後について

問土岐市の児童館設置場所及び各施設の築年数を教えてください。

答児童館が、土岐津町、妻木町、泉町の3か所。児童センターが下石町、駄知町、肥田町の3か所がございます。築年数につきましては、土岐津、妻木、泉児童館が50年ほど経過しております。各施設に2、3名の職員を配置し、年間7千人から1万7千人ほどの方々が利用されております。

問耐震性及び老朽化について問題はないのでしょうか。

答耐震性につきましては、基準値を上回っており問題はございませんが、建設後40年以上経過している建物については老朽化が進んでいることから、皆様が安心してご利用いただけるよう優先順位等を考慮し、修繕や改良に対応しております。



妻木児童館



● 杉浦 司美 ●

◆ 運転免許証自主返納事業について

問 近年高齢者の運転による交通事故が多発している中、土岐市では、平成30年4月より高齢者の運転免許証の返納支援を目的として免許証返納者へバス回数券若しくはタクシー回数券を交付する事業を実施している。今年度、既に前年度を上回る交付実績となっているが、その要因は。

答 大きな要因としては、高齢者による自動車事故が、連日報道機関に取り上げられたこと、また、5月1日号「広報とき」で運転免許証の自主返納について大きく掲載したことなどにより件数が伸びたと考えている。

問 市が税金を投入して、免許証の返納を促進するには、限度がある。全国的には、企業独自に食材の宅配や灯油の配達をサービスで行うなど、地域全体で取り組んでいる事例も見受けられる。土岐市でも、企業独自の割引サービスを提供していたくなど、企業に働きかけをし、地域全体で免許証返納の促進を図るよ

う取り組んでみてはどうか。

答 この地方でも、路線バスの運賃が半額になる制度を開始するなど企業による支援の動きが広がっている。行政だけではなく、地域社会全体で運転免許証の返納促進に取り組んでいくことが重要だと考えている。

◆ 地域交通について

問 駄知町では、今年の6月から、駄知町内会連合会、土岐市と東鉄タクシーの共同運行による「駄知どんぶりバス」の運行が始まったが課題は。

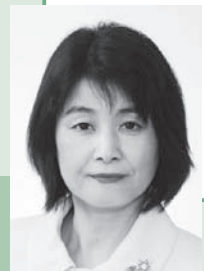
答 現在、市の補助金、運賃収入、広告収入だけで運行経費を賄うまでには至らないため、地元自治会からの負担金で欠損分を補てんしている。利用者数を増やすことや広告収入等の営業外収入を増やすことが課題と考えている。ダイヤ改正や停留所の検討など、町民が使いやすいものにしていくことや広告収入を増やすための営業活動が必要であると考えている。

問 仮に下石で同様の事業を展開して行こうとした場合、地域性から問題となることは何か。

答 下石町は、民間のバスが東西南北方向に運行しており、民間路線と重複しないよう、また、町民が利用しやすいよう地域路線を検討する必要がある。

《第5回定例会一般質問》

● 印は議員の意見・提案



● 水石 玲子 ●

◆ 人と動物の共生社会をめざして

問 本市の野良猫対策の現状は。

答 動物の愛護及び管理に関する法律で、動物所有者の責務として、終生適切な飼育をすることとされている。広報やホームページで啓発している。

問 近年の苦情件数と苦情内容は。

答 30年度、5件。今年度、5件。

内容は、野良猫に餌付けをして、敷地内にふん尿をして困るという相談が多い。相談対応には、市の職員と保健所の職員の2名で現地へ伺う。

問 野良猫を含む猫の不妊去勢手術費用の助成の考えは。

答 国の情報等を注視した中で検討していく。

◆ おもいやり駐車場について

問 ぎふ清流おもいやり駐車場の利用証の交付対象者への周知方法は。

答 市役所関係窓口でのチラシ配布ポスターの掲示、10月15日号の広報にて関連記事を掲載し周知している。

問 今後の課題は。

答 利用証に有効期限があるため、更新されないで利用される場合があるのではないかと、又は、利用者間、利用者と施設のトラブルになる可能性があるのではないかと心配している。



おもいやり駐車場

◆ 人生100年時代の健康づくり

問 本市のフレイル予防の現状は。

答 公民館10ヶ所で行っている、はつらつ元気塾、地域の集会所等での地域はつらつ元気塾を開催している。65歳以上の高齢者を対象に運動機能の向上講座、栄養講座、口腔機能向上講座を実施している。

問 健康寿命の延伸について、高齢者健康都市を目指すフレイル予防の推進について、市長の決意を伺います。

答 超高齢社会に突入いたしましたし、市民の健康寿命を延ばすためのフレイル予防は大変重要であります。来年度からフレイル検診が始まる。今後、全世代型の健康延伸事業に、全庁的に取り組んでまいりたい。